

成績処理期間について



成績処理期間中に何人かの子ども達に声かけをして、学習をしたり、提出物を直してもらったり、図工作品等提出物を仕上げてもらったりしました。ここ5年間このような対応ができませんでした。来学期初め、終わりも実施し、その期間は4時間授業にする予定です。

ステップルーム（不定期の設置）のご紹介

これは、原則、通常の学級に入ることに気持ちが届きにくい子どものために用意しているお部屋です。

ご利用の場合は、校内の担当者と保護者、お子様と相談して頂きます。（但し、サポートの先生（非常勤の先生）が不在の場合は開設できないのが現状です。）



Q：放課後（公園等）に子ども同士のとトラブルがありました。

相手の連絡先をすぐに教えてくれないのですか？

A：まずは、ご家庭においてお子様からトラブルの経過を聞き取って頂くことをお願いいたします。そして、トラブル後の登校の際に、両者のお子様から（再度）お話を学校で聞き取り、お伝えすることもあります。

しかし、放課後のトラブルについて、学校はなかなか正しい把握ができません。（校内においてでさえ、周囲の子ども達からの聞き取りをしても正しい事実が把握できないこともあるぐらいです。）以前もお伝えしていますが、双方の聞き取りを学校がしても、お子様の意見が食い違ったままになることがよくあります。

ですから**原則、放課後のお子様のトラブル対応は各ご家庭にお願いすることが殆どです。**

尚、校内で起こったトラブルについても以前お示しましたように暴言・暴力をしたご家庭には、学校から相手側への謝罪をお願いしています。（但し、暴言・暴力を受けた殆どのご家庭は（被害の程度によりますが）、学校側にその解決方法を委ねてくださる方もいらっしゃいます。）

学校は、子ども達がトラブルから学び少しでも相手の気持ちを考えたり、自信や勇気が持てたりできるように支え続けます。同時に、ご家庭からの支援にもいつも期待しています。ありがとうございます。

Q：学校での性教育の現状について教えてください。 https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index2.html

A：学校では小学校体育科保健領域4年生において「体の発育・発達」において性に関する指導を行います。また、5、6年生の宿泊行事前に男女分かれて、改めて精通・初経についての対応として子ども達に教えています。今年度は10/8（木）に子ども達に性に関する指導を外部講師を招いて行う予定です。

その他、文部科学省は「生命の安全教育」として発達段階にあった動画や教材を提供していますので、本校も2年に1回の割合で児童に見てもらっています。

先日、6/25（火）の児童朝会では、校長から毎年起こっているプライベートゾーンにおけるからかいの行動が「相手の一生に関わる心の傷」になることを伝えました。



Q：子どもが家でスマホゲームをする時間が長いのです。大丈夫でしょうか。



A：ご家庭でのルールを決めずにだらだらとゲームをさせることは大変心配です。NHK番組視点・論点「若者のゲーム依存 新たな問題と対策」で、久里浜医療センター 名誉院長 樋口 進医師は

「若者を中心としたゲーム依存の増加が懸念されています。世界保健機関は、2019年にゲーム依存、正式にはゲーム行動症を正式に疾病と認定しました。この疾病化からまだ5年ですが、当初に見られなかった新たな問題が浮かび上がってきています。」と述べておられます。ご家庭でのルール決めを引き続きお願いします。

https://www.jspn.or.jp/modules/forpublic/index.php?content_id=65

